



日頃から地域の方が手入れをしています

現代いまをま活まきる

地域の魅力を発信する

しょうがっこう 中小屋商楽校元気会

会長
向井 浩二さん (中小屋)

おうこう
央幸設備工業(株)
金澤 弘毅さん (札幌市)

閉校した中小屋小学校を地域の情報発信基地として蘇らせようと、同校を借り受けた央幸設備工業(株)と中小屋地域の方が協力して中小屋商楽校元気会を立ち上げました。

ここを中心に地域の宝を発見し、発信します。

新しい挑戦が始まったの ですね - 金澤さん

「いま、田舎が面白い！」を合言葉に何か地域おこしができないかと考えていました。

その時に、当別町が中小屋小学校を無償貸与することを知り、企画案を提出したところ、採用されました。

最初は、地元農家の方と協力して靈芝(茸の一種で中国の古典で神仙の薬草とされる)の栽培拠点にしようとしていました。現在は、さらに魅力のある枝葉をつけて地域を元気にする力へと成長させていければと考えています。

この中小屋には、都会の人が憧れる魅力ある自然がたくさんあるので、地域のみなさんと協力して、よそのまちにはない美味しいもの

と面白いことを創り出し、みんなで楽しいと思えるような活動につなげていきたいですね。

地域の活力づくりにつな がりますね - 向井さん

中小屋商楽校元気会結成のきっかけは、中小屋小学校を借り受けた央幸設備工業(株)の金澤さんから一緒に地域の魅力を発信しようと呼びかけられたことです。

最近の中小屋は、中学校、保育所、小学校が相次いで閉校(所)し、暗い話題が続いていましたが、このまま下を向いているだけではだめで、新しい取り組みをしなければならぬと考えていました。

この中小屋には、春に白鳥が訪れる「円沼」をはじめ、PRできる場所がまだまだあると考えています。それと、以前は米を多く作

付けしていたのですが、最近は、メロンやスイカ、アスパラなど野菜、果物の栽培を増やしています。

これからは、「中小屋商楽校」を通して中小屋で採れた自慢の作物や自然あふれる地域の特色を発信して札幌市や近隣の市町村から人が訪れる場所にしたいですね。

9月には、初めてのイベントを開催するので、是非、みなさんに来てもらいたいと思います。

道草市場を開設

地元中小屋で採れた野菜の直売や中小屋商楽校を開放して軽食・休憩コーナーを設けます。

◎日時 9月13・14日(土・日)
10時～17時

◎場所 地域活性塾中小屋商楽校
(旧中小屋小学校)

◎問合せ 向井 ☎27-2232